

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)東京ガス北浦和ビル

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.3	
Q1 室内環境					0.40			3.5	
1 音環境				3.1	0.15			3.1	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40				
1.2 遮音				3.4	0.40				
1 開口部遮音性能	サッシ遮音性能T-2を採用			5.0	0.60				
2 界壁遮音性能				1.0	0.40				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音				3.0	0.20				
2 温熱環境				3.1	0.35			3.1	
2.1 室温制御				3.2	0.50				
1 室温				3.0	0.38				
2 外皮性能	外壁・屋根に断熱材(ポリスチレンフォーム等)、Low-E複層ガラスを採用			4.0	0.25				
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38				
2.2 湿度制御				3.0	0.20				
2.3 空調方式				3.0	0.30				
3 光・視環境				3.6	0.25			3.6	
3.1 昼光利用				3.0	0.30				
1 昼光率				3.0	0.60				
2 方位別開口									
3 昼光利用設備				3.0	0.40				
3.2 グレア対策				3.0	0.30				
1 昼光制御				3.0	1.00				
3.3 照度	事務室で750Lx			4.0	0.15				
3.4 照明制御	1スハンごとに明るさ制御			5.0	0.25				
4 空気質環境				4.2	0.25			4.2	
4.1 発生源対策				4.0	0.50				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材を全面的に使用			4.0	1.00				
4.2 換気				4.0	0.30				
1 換気量	事務室(埼玉導管ネットワークセンター)で1.5倍			5.0	0.33				
2 自然換気性能	事務室(埼玉導管ネットワークセンター)で1/30以上			4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33				
4.3 運用管理				5.0	0.20				
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御	全館禁煙			5.0	1.00				
Q2 サービス性能					0.30			3.3	
1 機能性				3.2	0.40			3.2	
1.1 機能性・使いやすさ				2.0	0.40				
1 広さ・収納性				1.0	0.33				
2 高度情報通信設備対応	OA707、コンセント容量50VA/m ² 以上確保、複数通信事業の利用			4.0	0.33				
3 バリアフリー計画				1.0	0.33				
1.2 心理性・快適性				4.6	0.30				
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.9以上かつ適度な窓の設置			5.0	0.33				
2 リフレッシュスペース	屋外テラス 約75m ²			4.0	0.33				
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している			5.0	0.33				
1.3 維持管理				3.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保	各階にSKを配置、清掃作業に使えるコンセント配置			4.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				3.6	0.30			3.6	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	1.25倍の耐震性能			4.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	高湿系排気ダクトはステンレスダクトを使用			5.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位2種にC以上を採用			4.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				3.4	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20				
5 通信・情報設備	複数通信事業の利用、埼玉防災無線の設置			5.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり			3.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高3.86m	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			4.0	0.50	-	-	
緑地や、設備排気の排出位置の工夫等							
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	0.20	-	-	5.0
BPI _m 0.57建物の断熱を適切に配し、外壁や窓を通しての負荷に配							
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			3.7	0.50	-	-	3.7
[BEI][BEIm] = 0.73 高効率空調やLEDなどを中心に採用							
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
自動水栓や節水型便器を過半に採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.20	-	-	
再生骨材の路盤材(外構舗装下地)、ビニル床材(内装床仕上)							
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.20	-	-	
内装が乾式工法で分別が容易、OA707採用							
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
消費エネルギー量削減により運用時のLCCO ₂ 排出量低減に配慮							
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			4.0	0.50	-	-	
風通し、緑化による温熱環境への配慮							
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	敷地内に駐輪、駐車場を配置(必要台数分)、搬入車両用スペース考	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストを一部満たす、広告物照明がない	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	